

最終評価への意見表【まとめ】

資料 1

事業名	事業内容		取組みの概要	評価 ○:達成 ×:未達成	評価の根拠や対応など	評価の是非とコメントなど
公共交通軸	東海道本線	現行サービス水準での運行(継続)	現行サービス水準での運行を継続している。	○	利用者へのサービス水準を維持している。	○=8 ・サービス水準の維持ができています。 ・豊橋浜松間は、他区間便数の1/2。特に深夜は、終電が早すぎる。JRへの改善依頼を。 ・豊橋浜松間の運行本数が少ない区間であるが、維持のレベルか？
	天竜浜名湖線	現行サービス水準での運行(継続)	現行サービス水準での運行を継続している。	○	利用者へのサービス水準を維持している。	○=8 ・サービス水準の維持ができています。 ・増加傾向にあり、良いと思う。
	浜名線	現行サービス水準での運行(継続)	令和3年10月に退出	×	令和3年10月よりコーちゃんバスにて国道301号を通る運行システムを新設することで、退出による影響を最小限とした。	○=4 ×=3 未回答1 ・運行システムを新設してよりレベルアップを望む。×→○に。
	県境を越える新設路線	新設路線の検討	近隣市町(豊橋市)との情報交換を実施し、企業シャトルBaaS事業において、県境を跨ぐ路線について検討を実施。	○	県境間の移動について企業シャトルBaaS事業において検討を開始した。また、令和4年度以降に実証実験を実施予定。	○=8 ・国境ではない。同じ生活圏なので、湖西市への呼び込みを含めて検討。
拠点内巡回・拠点アクセス	コーちゃんバス	現行サービス水準での運行(継続)	安全安心な運行というサービスを維持し、路線数及びダイヤの見直しを実施。	○	その他の公共交通機関や地域フィーダーの導入により公共交通全体でサービス水準を維持した。	○=8 ・サービス水準の維持ができています。 ・どの項目も現行水準での運行なら何も言うことはありません。
		路線の再編	令和2年10月に路線の再編を実施	○	効率的な運行による利便性の向上と財政負担の両立を目的に実施。地域フィーダーと連携した公共交通サービスとして多様化するニーズに対応した。	○=8 ・ニーズに対応できたと思われる。 ・改善するには現状レベルを上げる必要があるのではないか。
		運賃体系の見直し	令和2年10月に運賃体系の見直しを実施	○	限られた財源の中で、持続可能な公共交通を目的に運賃体系の見直しを実施した。わかりやすい料金体系となった。	○=8 ・一律になったのは、わかりやすくて良い。 ・顧客満足度も検討の中に入れてほしい。
	自主運行バス浜名線	現行サービス水準での運行(継続)	平成30年4月より、コーちゃんバス(入出新所鷲津線)として運行 令和2年10月より、入出新所鷲津線、知波田鷲津線を統合し、知波田入出線として運行	○	統一化されたことにより認知度が上がり、乗車数にも効果があった。	○=8 ・路線名について、知波田入出線ではなく、知波田入出新所鷲津線のように発着までの経路を名称に入れる。
		路線の再編	令和2年10月に路線の再編を実施	○	効率的な運行による利便性の向上と財政負担の両立を目的に実施。地域フィーダーと連携した公共交通サービスとして多様化するニーズに対応した。	○=8 ・ニーズに対応できたと思う。 ・今後の取り組みが良い。
		運賃体系の見直し	令和2年10月に運賃体系の見直しを実施	○	限られた財源の中で、持続可能な公共交通を目的に運賃体系の見直しを実施した。わかりやすい料金体系となった。	○=8 ・乗車数を増やし黒字にしたい。
地域フィーダー	導入検討路線	導入に向けた検討 実証実験 本格運行(地域との合意を得る)	【デマンド型乗合タクシーの導入】 ・白須賀地区 H30.3より実証実験を開始 →R2.4より本格運行 ・知波田地区 H31.3月より実証実験を開始 →R4.4より本格運行(予定) ・新居地区(一部) R3.4より実証実験を開始 →R4.4より本格運行(予定)	○	コーちゃんバスの路線再編と併せて地区を拡大しており、大量輸送のバス、ドアツードアのデマンド型乗合タクシーとしてバスの利用が困難な方の移動手段として着実に利用者が増加している。	○=8 ・どんなに調整してもバスでは行き届かない地域へのサービス補完として、今後も積極的な導入検討をお願いしたい。 ・バス利用困難な方の移動手段として利用者が増加している。 ・タクシーは、一般の人が乗るものではなく、高収入の人が乗るもので、乗りにくいという声がある。地域のステッカー等を掲示して自前感を出せないか。
タクシー	タクシー	公共交通としての機能・役割に応じた適正なサービスの提供(継続)	現行サービス水準での運行を継続している。	○	利用者へのサービス水準を維持している。	○=8 ・サービス水準を維持できている。

事業名	事業内容		取組みの概要	評価 ○:達成 ×:未達成	評価の根拠や対応など	評価の是非とコメントなど
乗継環境の整備	乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備	拠点駅や地区拠点での乗継利便性の向上	ダイヤ改正時に、JR東海道本線との乗継を重要視し、拠点駅への到着時間を調整している。	○	乗車実績や過去のOD調査にてJR東海道本線との乗り継ぎが多いため、一定の乗継環境は整備されている。	○=8 ・JRとの乗継環境が整備されている。
公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業	公共交通利用に係る積極的な情報提供	バス停(コーちゃんバス)の案内表示の多言語化	平成30年度に主要なバス停においてローマ字表記を実施 バス停トップの破損時に順次ローマ字表記を追加	○	R3.3末時点で外国人住民登録者数は3,485人である点、発車時刻の問い合わせがある点より、一定の効果があつた。	○=8 ・外国人の方もローマ字表記があることで、使える機会ができた。
		公共交通マップの企画・作成・見直し	コーちゃんバス時刻表に、JR東海道本線、天浜線の時刻表(一部抜粋)を掲載し、乗り継ぎに便利な公共交通マップを作成した。	○	コーちゃんバス時刻表に、JR東海道本線、天浜線の時刻表(一部抜粋)を掲載し、乗り継ぎに便利な公共交通マップを作成した。また、ペイペイでの支払いや地図の見直し、二次元コードの追加などを実施した。	○=8 ・ペイペイ、二次元コードの取り入れで、より便利になったと思う。 ・市内運行状況がわかりやすい。新居町駅にタクシーが常駐していないため、より使いやすいように接続があると良い。
		バス利用促進啓発ポスターの企画・作成・見直し	R1年度は、「夏休み小学生50円バス」に合わせて市内観光名所が掲載されたポスターを作製。R2年度は、市内中学校3年生へ向けた高校進学後のバス利用啓発チラシを作成、配布。併せて市公式LINE等で情報発信を実施。	○	市公式LINE掲載時に市ウェブサイト該当ページのアクセス数が増加したため、コーちゃんバスの認知度向上に効果があつた。(R3.2 993回 → R3.3 1,813回)	○=8 ・アクセス数の増加で認知度が上がったと思う。 ・良いと思うが、乗車する高齢者に伝わる方法も検討してほしい。
	分かりやすい運行情報・乗継情報の提供	公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載等	コーちゃんバス時刻表に、JR東海道本線、天浜線の時刻表(一部抜粋)を掲載し、乗り継ぎに便利な公共交通マップとして作成した。また、R3.3よりモデルケースを掲載したチラシを作成、配布。	○	R3.10の路線見直し時に配布したモデルケースチラシを見た方からの問い合わせもあり、一定の効果があつた。	○=8 ・モデルケースチラシが良かった。 ・モデルケースはわかりやすい。よりわかりやすい情報の掲載ができた。
		拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置	H30度に拠点駅の整備事業に合わせて設置した。	○	平成30年度に設置を完了した。JR東海道本線とコーちゃんバスとの乗り継ぎ環境の改善に繋がっている。	○=8
		主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討	R3年度に実施する企業シャトルBaaS事業にてバスロケーションシステムを含めた実証実験を実施する予定。	○	R3年度に実施する企業シャトルBaaS事業にてバスロケーションシステムを含めた実証実験を実施する予定。	○=8 ・検討はできた。
公共交通の利用を誘導する事業	公共交通の割引運賃の導入	バスの1日乗り放題券等の企画乗車券の導入	コーちゃんバスの片道定期券を平成30年2月から導入・販売した。また、小学生を対象に学期定期券を導入・販売した。	○	平成30年2月より片道定期券を継続して販売。特に小学生の通学に利用されており、利便性の向上に繋がっている。また、学期定期券の販売も利便性向上に繋がっている。	○=8 ・利用者ニーズへの対応が大変良い。 ・片道定期券、学期定期券は利便性向上に繋がっている。
		天竜浜名湖線の小学校入学記念乗車券、敬老記念乗車券の発行(継続)	事業予算削減により、平成30年度より事業を中止した。	×	事業予算の削減、費用対効果が期待できない点より事業を中止した。	○=7 未回答1 ・費用対効果を考えれば致し方ない。利用促進に繋がる企画乗車券等の検討は、今後も引き続き取り組んで欲しい。
	モビリティ・マネジメントの実施	小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催	小学生を対象として総合学習の機会に乗り方教室を開催した。	○	小学生からの質問が途切れることなく、関心の高さが伺えたとともに、バスを知ってもらう機会として効果があつた。	○=8 ・期間中の実績(小学生の人数)を取り組みの概要に記載していただきたい。 ・普段バスを使わない子どもたちにバスについて知ってもらう良い機会となっている。
		公共交通利用促進のための動機付け資料の作成	H30年度にバスに関する啓発資料として、「クルマの使い方について考えてみませんか?」の冊子を企画・作成した。	○	利用啓発活動時の配布資料として活用しており、一定の効果があつた。また、SNS等の活用により市ウェブサイトの該当ページのアクセス数が増加したため、コーちゃんバスの認知度向上に効果があつた。 R3.2 993 → R3.3 1,813 R3.8 1,362 → R3.9 2,483	○=8 ・評価も2つに分けた方が良いのでは? ・コーちゃんバス事業が、より市民に近い存在になるように努力が続けられていると感じる。
		特定地域におけるモビリティ・マネジメントの実施	入出地区及び新所地区においてH30.11に実施した。 R3.3、R3.9にSNSやモデルケースチラシ等を活用して市全域への利用啓発を実施した。			○=7 未回答1 ・評価も2つに分けた方が良いのでは? ・コーちゃんバス事業が、より市民に近い存在になるように努力が続けられていると感じる。
	免許返納者の優遇	免許返納者への優遇措置の導入	平成29年4月から運転免許証自主返納等をした市民を対象に2年間のバス無料乗車券を交付した。	○	毎月10人程度の交付者があり、免許返納の促進、公共交通の利用に一定の効果があつた。	○=8 ・免許返納の促進に繋がった。

事業名	事業内容		取組みの概要	評価 ○:達成 ×:未達成	評価の根拠や対応など	評価の是非とコメントなど
	観光振興のための公共交通利用促進策の実施	観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施	令和元年11月に、「コーちゃんバスを上手に利用する会」及び新居地区にて活動されている「古里ガイド」と協力し、白須賀地区及び新居地区の宿場をめぐる観光ルートの検討を実際にコーちゃんバスに乗車して実施した。	×	モデルルートについては、作成したもののコロナ禍による周知の自粛、路線の見直し等により、未公表のため、効果については不明。	○=8 ・コロナの状況により再開したらと思う。
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	関係機関と連携した取組み	市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施	—	×	企業シャトルBaaS事業によるバスロケーションシステムの検討と併せて検討を進める。	○=7 未回答1 ・今後へ ・早急に実施してほしい。商業施設、乗客双方にメリットがある。
		バス停オーナー制度の継続実施(継続)	平成29年度から事業を実施した。	○	オーナー協力金として、収入の増加に繋がった。また、バス停名が施設名になるため、バス停の位置が明確になり、利便性が向上した。	○=8 ・収入の増加。バス停の位置が分かりやすくなった。
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	地域や企業、学校と連携した取組み	バス停周辺における環境整備、清掃、緑化等	バス停へベンチを2箇所設置。地元自治会と協力し、「新居弁天」バス停付近の休憩所の清掃及び除草作業を実施した。	○	バス停へのベンチ設置、バス停付近の清掃、除草作業により、利便性、サービス水準の向上に繋がった。	○=8 ・ベンチ設置、清掃、除草など地域と連携できた。 ・ボランティアで行う人に市からも労いの言葉をかけてください。
		夏休み小学生50円バスの継続実施(継続)	小学生にコーちゃんバスに対して愛着と親しみを持ってもらうため、夏休みの期間にプールや海水浴、買い物などに出かけてもらうことを目的として、1乗車50円となる特別運賃割引を実施した。	○	毎年、一定数の利用者があり、小学生へのバス利用の啓発、利用機会の増加による愛着向上に効果があった。	○=7 未回答1 ・小学生のバス利用機会の増加となった。
		中学校卒業生予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施等	市内中学校3年生へ向けた高校進学後のバス利用啓発チラシを作成、配付。併せて市公式LINE等で情報発信を実施。	○	市公式LINEに掲載時に市ウェブサイト該当ページのアクセス数が増加したため、コーちゃんバスの利用啓発に繋がった。(R3.2 993回 → R3.3 1,813回)	○=8 ・バスを利用することのメリット(経済的な数字、環境への配慮)が、しっかりと伝わるような発信をお願いしたい。 ・チラシだけではなく、車内での声掛けをしてください。
	交通事業者と連携した取組み	バスの日イベントでの啓発活動の実施等	福祉や環境啓発イベントにおいて、市内運行事業者と協力してパンフレット等の配布を実施。 ※R2.R3については、コロナ禍によるイベント中止に伴い未実施。	○	日常生活でバスを利用していない方へ啓発する機会となるため、一定の効果があった。	○=8 ・イベントで啓発したため、イベント参加した人が知る良い機会となった。
	コーちゃんバスを上手に利用する会の取組み	コーちゃんバスイメージアップの推進	コーちゃんバスを上手に利用する会の会員にご協力いただき、イベント時のパンフレット配布や、小学生へのバス乗り方教室での説明を行っていただいた。	○	市民目線、利用者目線の意見をいただくとともに、各種事業へご協力をいただくことで利用啓発に効果があった。	○=8 ・市民、利用者目線での意見が利便性向上に繋がった。
企画乗車券の企画等		コーちゃんバスを上手に利用する会の会員からの提案により、「片道定期券」の販売を平成30年2月より開始。	○	○=8		
多様な主体による取組み	湖西市地域公共交通会議の継続的開催(継続)	定期的に湖西市地域公共交通会議を開催している。	○	公共交通の運行に必要な協議や意見交換などを行うことで、公共交通全体の利便性向上、効率化に効果があった。	○=8	
	湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催(継続)	湖西市バス運行評価改善委員会を年2回程度開催している。	○	事業の評価・改善策等を協議しており、市民目線、利用者目線の意見をいただく場としてより良い公共交通に繋がっている。	○=8	
	コーちゃんバスを上手に利用する会の立ち上げ・継続的開催	平成29年度から立ち上げ、様々な利用促進策の提案をいただき、事業に繋がっている。	○	ベンチの寄付や片道定期券などの事業化に繋がったことから、利便性の向上に繋がった。	○=8 ・市民、利用者目線での意見が利便性向上に繋がった。 ・会員の方たちの提案で、色々な所で利便性が向上していると思う。大変良いと思う。	